

## IV. 機構・職員・予算・記録

### 1. 機 構

#### A. 機構の概要

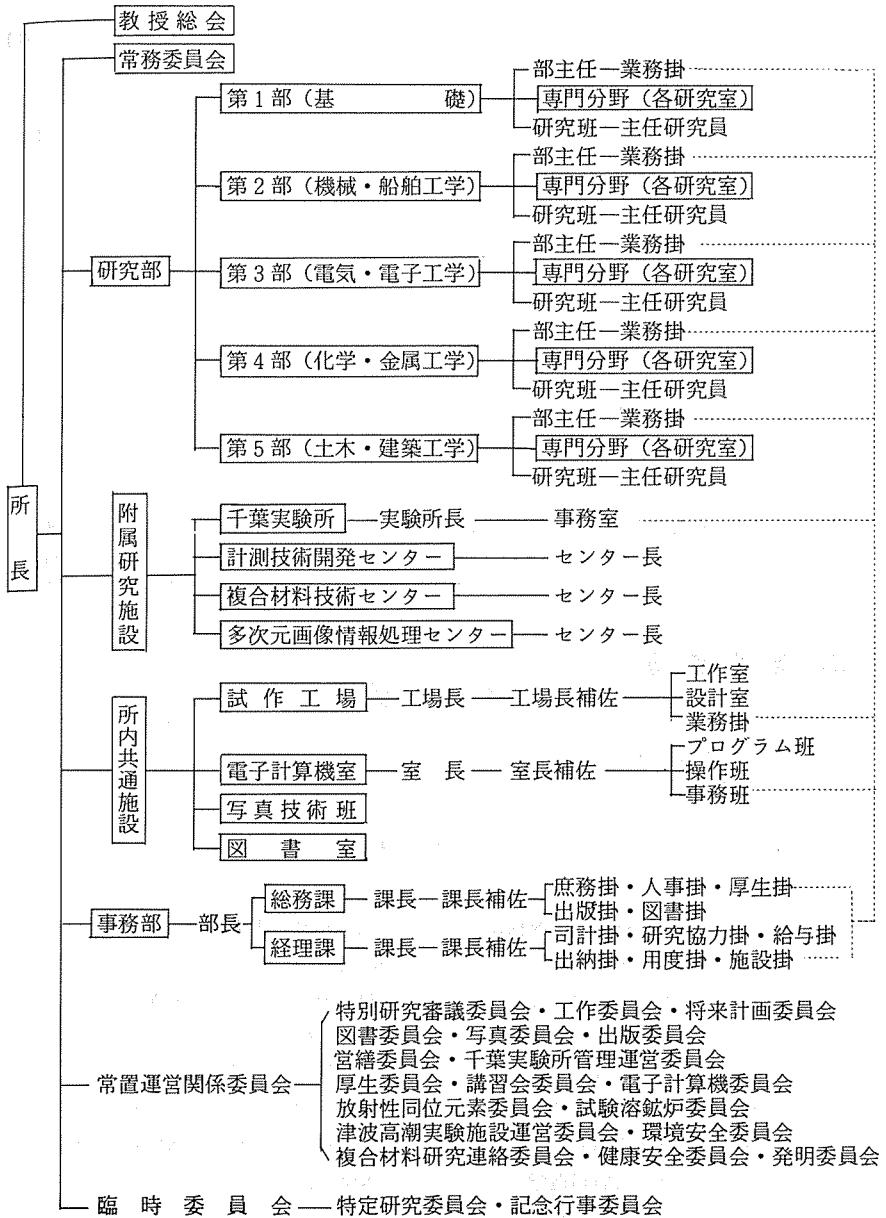
生産技術研究所は日常の業務遂行から、研究部と事務部に大別される。

研究部は、運営の便宜上、5部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて部の日常の業務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、必要によりそれ以上会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は4ページ「活動の概要」の項に掲げたとおりである。

本所の重要事項は教授総会で決議する。教授総会は教授・助教授・講師によって組織され、毎月1回定期に開催している。ほかに教官同志の知識向上をはかる輪講会が毎月1回行われる。

そのほかに所員がそれぞれの専門的立場から組織する各種委員会、運営関係を担当する諸委員会がある。これらは各部から選出する教授・助教授または講師が委員となって構成されるもので、委員長は教授総会で選出されるものと所長委嘱によるものがある。その種類は次ページB. 機構図にあるとおりで、内容は巻末の委員会諸規定を参照されたい。

## B. 機 構 図



## 2. 職 員

### A. 職 員 表 (56.4.2 現在但し併任は4.14 宇宙科学研究所発足のため同日より)

#### a. 職種別職員数

区 分	教 授	助教授	講 師	助 手	技 官	事務官	技能員	用務員	合 計
職員数	47 *1	35	10	79	149	95	2	9	426 * 1

\* 印併任

#### b. 諸系統別職員数

区 分	研 究 系 統								事 務 系 統		技 術 系 統		技 能 労 務 系 統				そ の 他		合 計	
	教 授	助 教 授	講 師	研 究 担 当	研 究 員	助 手	技 官	計	事 務 官	計	技 術 官	計	技 術 官	事 務 官	技 能 員	用 務 員	計	日 雇 者		計
職員数	47 *1	35	10	4	53	79	23	251 *1	85	85	105	105	21	10	2	9	42	1	1	484 *1

\* 印併任

### B. 職 員 名 簿

#### 研 究 部

教授・助教授（併任を含む）・講師・研究担当・研究員・助手まで

☆印は昭和56年4月1日定年退職の教授

#### 第 1 部

##### 教 授

北川 英夫 工博 材料強度機構学  
 小瀬 輝次 " 応用工学  
 成瀬 文雄 理博 応用数学  
 辻 泰 " 真空物理学  
 根岸 勝雄 " 超音波工学  
 田村重四郎 工博 耐震構造学  
 小倉 磐夫 理博 応用光学  
 岡田 恒男 工博 耐震構造学  
 (瀬山田 嘉昭 " 固体材料強度学

##### 併任教授

☆富永 五郎 理博 真空物理学

##### 助 教 授

本間 禎一 工博 放射線工学  
 中桐 滋 " 構造強度解析学  
 鈴木 敬愛 理博 結晶塑性学  
 吉沢 徹 " 応用数学  
 渡辺 勝彦 工博 固体材料強度学  
 高木堅志郎 " 超音波工学

講 師

芳野 俊彦 工博 応用光学  
結城 良治 “ 材料強度機構学

研 究 員

斎藤 弘義 工博  
鈴木 武臣 “  
沢田 孚夫 “  
森地 重暉 “  
武田 光夫 “  
福田 収一

助 手

藤森 總雄  
山沢 富雄

加藤 勝行  
小倉 公達  
片岡 邦郎  
久保田敏弘 工博  
関 松太郎 “  
関根 孝司 理博  
大平 壽昭  
黒田 和男 工博  
荒川 一郎  
久田 俊明 工博  
小泉 大一 理博  
(兼)奥村 秀人 工修

第 2 部

教 授

石原 智男 工博 流体機械学  
高橋 幸伯 “ 船体構造学  
柴田 碧 “ 装置機器学  
川井 忠彦 “ 構造動力学  
佐藤 壽芳 “ 切削工作計画工学  
棚沢 一郎 “ 伝熱工学  
大野 進一 “ 機械力学  
木内 学 “ 塑性加工学  
前田 久明 “ 船体運動学  
(兼)中川 威雄 “ 精密工作学

助 教 授

小林 敏雄 工博 流体機械学  
吉識 晴夫 “ 熱原動機学  
増沢 隆久 “ 精密工作学  
藤田 隆史 “ 装置機器学  
西尾 茂文 “ 伝熱工学  
浦 環 “ 船体構造学  
樋口 俊郎 “ 制御工学  
木下 健 “ 海事流体力学

講 師

萩生田善明 工博 精密工作学  
正司 秀信 “ 流体機械学  
谷 泰弘 “ 切削・研削加工学

研究担当

都井 裕 工博  
長尾 高明 “

研 究 員

杉本 隆尚 工博  
前田 照行 “  
岩元 貞雄 “  
原 文雄 “  
塩治震太郎 “  
小嶋 英一 “  
鈴木 浩平 “  
江藤 肇 “  
渡辺 武 “  
星谷 勝 “  
曾我部 潔 “  
田中 裕久 “

研究員

福田 敏男 工博  
 西田 公至 "  
 谷下 一夫 Ph. D.  
 刈込勝比古  
 村川 正夫 工博  
 下坂 陽男 "  
 柳沢 章  
 小野田義富

助手

立石 泰三  
 重田 達也  
 小畑 和彦  
 遠藤 敏彦

助手

永田 真一  
 江口 純弘  
 佐賀 徹雄  
 田中 勝也  
 新谷 賢  
 鈴木 清  
 椎名 章二  
 能勢 義昭  
 竹内 則雄 工修  
 西條 憲一  
 水野 毅 工修  
 大堀 真敬  
 藤田 聡 工修

第 3 部

教授

安達 芳夫 工博 画像電子デバイス工学  
 濱崎 襄二 " マイクロ波工学  
 河村 達雄 " 電力工学  
 山口 楠雄 " 電気制御工学  
 安田 靖彦 " 画像情報機器学  
 高羽 禎雄 " 情報処理工学  
 藤井 陽一 " 画像情報処理  
 原島 文雄 " 電力機器学  
 (兼)尾上 守夫 " 応用電子工学  
 (兼)高木 幹雄 " 応用電子工学

併任教授

野村 民也 工博 電子演算工学

助教授

生駒 俊明 工博 画像電子デバイス工学  
 濱田 喬 " 電子演算工学  
 榊 裕之 " 超音波工学  
 石井 勝 " 電力工学  
 (兼)石塚 満 " 画像情報処理  
 (兼)坂内 正夫 " 画像データベース

講師

藤田 博之 工博 電気制御工学  
 荒川 泰彦 " 応用電子工学  
 (兼)藤田 長子 Ph. D. 電子演算工学

研究担当

石谷 久 工博

研究員

吉田 裕一 工博  
 川橋 猛 "  
 野坂 康雄 "  
 藤田 献 "  
 福田 明 "  
 黒川 兼行 "  
 二宮 昭一  
 富川 義朗 工博  
 勝部 昭明 "  
 山本 充義 "  
 伊坂 勝生 "  
 最首 和雄 "  
 坪井 邦夫 "

研究員

長谷部 望 工博

助 手

岡田 三男

山田 博章

横山 幸嗣

横田 和丸

稲葉 博

北條 準一

助 手

市川 初男

栗原由紀子

市川 勝男

小町 祐史 工博

谷口 光弘 ”

近藤 正示

加藤 茂夫

第 4 部

教 授

館 充 工博 鉄鋼製錬工学

熊野谿 從 ” 有機材料化学

高橋 浩 理博 無機工業化学

妹尾 學 ” 有機工業化学

齊藤 泰和 工博 工業物理化学

増子 昇 ” 複合金属素材工学

木村 尚史 ” 環境化学工学

新井 吉衛 ” 有機工業化学

石田 洋一 Sc. D. 放射線同位元素工学  
工博

原 善四郎 工博 金属加工学

(嗣)早野 茂夫 ” 環境計測化学

助 教 授

白石 振作 工博 有機合成化学

鈴木 基之 ” 環境化学工学

鋤柄 光則 ” 工業物理化学

井野 博満 ” 金属材料学

二瓶 好正 ” 環境計測化学

(嗣)大蔵 明光 ” 複合材料工学

(嗣)安井 至 ” 複合材料工学

講 師

七尾 進 工博 複合金属素材工学

研究担当

相馬 胤和 工博

研究員

藤代 光雄 工博

荻野 圭三 ”

雀部 実 ”

坂田 俊文

星野 重夫

竹内 宏昌

岡田 光正

清水 肇

助 手

長田 和雄 工博

佐藤 乙丸 ”

井上 健

長谷川 洋 工博

小川昭二郎 ”

高井 信治 ”

明智 清明 ”

桑野 芳一

鈴木 康夫 工修

虫明 克彦 工博

篠田 純雄 ”

大島 隆一 ”

茅原 一之 ”

助 手  
 會川 義寛 工博  
 岩元 和敏 “  
 工藤 正博 “

助 手  
 荒木 孝二 工博  
 森 実 “  
 (兼)篠塚 則子 “

## 第 5 部

教 授  
 久保慶三郎 工博 耐震工学  
 田中 尚 “ 鋼構造学  
 石井 聖光 “ 応用音響工学  
 ☆三木五三郎 “ 土質工学  
 村松貞次郎 “ 生産技術史  
 小林 一輔 “ コンクリート工学  
 越 正毅 “ 交通制御工学  
 高梨 晃一 “ 鋼構造学

助 教 授  
 原 広司 工博 建築空間計画学  
 村井 俊治 “ 国土情報処理工学  
 片山 恒雄 Ph. D. 耐震工学  
 半谷 裕彦 工博 シェル構造学  
 虫明 功臣 “ 水資源工学  
 龍岡 文雄 “ 土質工学  
 橘 秀樹 “ 応用音響工学  
 (兼)村上 周三 “ 建築都市環境学

講 師  
 藤井 明 工博 建築数理計画学

研 究 員  
 趙 力采 工博  
 前田 紘  
 藤森 照信  
 松田 由利  
 芦川 智

助 手  
 本多 昭一 工修  
 佐藤 暢彦 “  
 伊藤 利治 工博  
 後藤 博司 工修  
 大保 直人 “  
 谷口 英武 “  
 門内 輝行 “  
 岩瀬 昭雄 工博  
 矢野 博夫 工修  
 魚本 健人 工博  
 大井 謙一 工修  
 松岡 龍治 “  
 本多 均  
 (兼)小峯 裕巳 工博

## 計測技術開発センター

教 授  
 (センター長)  
 早野 茂夫 工博 環境計測化学  
 助 教 授  
 村上 周三 工博 建築都市環境学

助 手  
 篠塚 則子 工博  
 小峯 裕巳 “

## 複合材料技術センター

教 授		助 教 授
(センター長)		大藏 明光 工博 複合材料工学
山田 嘉昭 工博 固休材料強度学		安井 至 " 複合材料工学
中川 威雄 " 複合材料加工学		助 手
		奥村 秀人 工修

## 多次元画像情報処理センター

教 授		助 教 授
(センター長)		石塚 満 工博 画像情報処理
尾上 守夫 工博 画像データベース		坂内 正夫 " 画像データベース
高木 幹雄 " 画像情報処理		

## 千葉実験所

所 長 (教授) (併)	田村重四郎 工博		事務主任 福島 重雄
--------------	----------	--	------------

## 試 作 工 場

工場長 (助教授) (兼)	大藏 明光 工博		助 手 関 豊二
			" 古屋 七郎

## 電子計算機室

室 長 (教授) (兼)	尾上 守夫 工博		室長補佐 (講師) 藤田 長子 Ph.D.
--------------	----------	--	-----------------------

## 事 務 部 (事務系役付職員まで)

事 務 部 長	長谷川 潔		第5部業務掛長	鈴木 昂
総務課長	江 沢 兵 治		試作工場業務掛長	吉 永 博文
総務課課長補佐	寺 田 桂 三		経 理 課 長	梶 原 金 信
庶務掛長	小 泉 隆		経理課課長補佐	鶴 岡 為 彦
人事掛長	菊 地 文 男		司 計 掛 長	木 村 功
厚生掛長	石 田 董 太 郎		研究協力掛長	金 子 作 三
出版掛長	寺 島 恒 一		給 与 掛 長	福 与 庄 一
図書掛長	斧 政 光		出 納 掛 長	遠 藤 謙
第1部業務掛長	村 井 俊 雄		用 度 掛 長	笹 岡 実 右 門
第2部業務掛長	松 川 幹 雄		施 設 掛 長	石 井 三 郎
第3部業務掛長	斉 藤 正 美		千葉実験所事務主任	福 島 重 雄
第4部業務掛長	川 島 平		写真技術班長	安 田 良 平



年 間 異 動

官 職	氏 名	発令年月日	異 動 事 項
	本 多 均	55. 5. 1	助手採用
助 手	中 村 良 也	"	辞職
教 務 技 官	小 泉 大 一	55. 6. 1	助手昇任
教 授	鳥 飼 安 生	55. 7. 15	死亡
助 教 授	原 島 文 雄	55. 8. 1	教授昇任
"	木 内 学	"	"
助 手	正 司 秀 信	55. 9. 1	講師昇任
"	七 尾 進	"	"
助 教 授	原 善 四 郎	"	教授昇任
"	安 井 至	55. 9. 1	複合材料技術センター助教授配置換
"	生 駒 俊 明	55. 9. 13	復職
助 手	松 井 正 安	55. 9. 15	辞職
	森 実	55. 10. 1	助手採用
教 授	石 原 智 男	55. 11. 14	所長併任 (58. 11. 13 まで)
技 官	大 堀 真 敬	55. 12. 1	助手配置換
助 手	兼 子 隆	55. 12. 15	辞職
講 師	高 木 堅 志 郎	56. 1. 1	助教昇任
"	堤 和 男	"	"
"	木 瀬 秀 夫	56. 2. 16	"
助 教 授	大 藏 明 光	56. 4. 1	試作工場長兼務 (58. 3. 31)
教 授	田 村 重 四 郎	"	附属千葉実験所長併任 (58. 3. 31)
助 教 授	鹿 島 茂	56. 3. 31	辞職
助 手	阿 部 章 男	"	"
教 授	三 木 五 三 郎	56. 4. 1	定年退職
助 手	田 代 文 之 助	"	かんしょう退職
助 教 授	堤 和 男	"	豊橋技術科学大配置換
"	木 瀬 秀 夫	"	筑波大配置換
"	前 田 久 明	"	教授昇任
	谷 泰 弘	"	講師採用
	藤 田 聡	"	助手 "
教 務 技 官	近 藤 正 示	"	助手昇任
技 官	加 藤 茂 夫	"	助手配置換
総 務 課 長	上 代 清	"	宇都宮大人課長配置換
茨 城 工 業 高 等 専 門 学 校 庶 務 課 長	江 沢 兵 治	"	総務課長配置換

### C. 名誉教授

故 井口 常雄,	故 瀬藤 象二,	故 友田 宣孝,	故 谷 安生,	星合 正治
故 岡 宗次郎,	故 渡辺 要,	故 福田 武雄,	高橋 武雄,	永井 芳男
福田 義民,	坪井 善勝,	菊地 真一,	星野 昌一,	関野 克
岡本 舜三,	江上 一郎,	星埜 和,	森脇 義雄,	沢井善三郎
一色 貞文,	野崎 弘,	平尾 収,	山邊 武郎,	鈴木 弘
大井光四郎,	水町 長生,	加藤 正夫,	中村 亦夫,	勝田 富司
井口 昌平,	亘理 厚,	松永 正久,	武藤 義一,	大島康次郎
斎藤 成文,	渡辺 勝,	今岡 稔,	西川 精一,	

## 3. 決算と予算

### A. 昭和54年度歳出決算額

	金額	比率	比率
総 額	2,815,160,000	100.0%	
職 員 給 与	1,988,722,000	70.643	
校 費	768,727,000	27.306	100.0%
研 究 部 経 費	544,949,000		70.890
通 常 経 費	252,747,000		
各 部 研 究 費	214,131,000		
選 定 研 究 費	37,122,000		
そ の 他	1,494,000		
特 別 経 費	292,202,000		
特 別 研 究 費	156,794,000		
特 殊 装 置 運 転 経 費	35,958,000		
セ ン タ ー 運 営 費	4,495,000		
学 生 等 経 費	31,490,000		
電 子 計 算 機 借 料	63,465,000		
管 理 運 営 費	186,089,000		24.208
通 常 経 費	186,089,000		
事 務 部 経 費	15,169,000		

事務經費	12,248,000	
自動車管理費	2,433,000	
會議費	488,000	
賃金	8,529,000	
生活關係經費	97,773,000	
光熱水料	60,447,000	
通信費	22,045,000	
暖冷房運轉經費	14,710,000	
防火設備等保守費	571,000	
厚生・環境整備費	14,266,000	
厚生經費	2,473,000	
清掃費	4,305,000	
環境整備費	3,924,000	
庁舎維持費	3,564,000	
共通施設關係費	50,352,000	
図書費	15,508,000	
出版費	8,934,000	
写真技術班運營費	1,977,000	
試作工場運營費	7,465,000	
電子計算機室運營費	4,522,000	
千葉實驗所運營費	11,946,000	
臨時經費	37,689,000	4.902
通常經費	36,638,000	
計畫支出	2,589,000	
臨時支出	34,049,000	
特別經費	1,051,000	
特別設備費	0	
特別研究費	1,051,000	
受託研究費	19,590,000	0.696
受託研究員費	8,107,000	0.288
各所修繕費	8,098,000	0.288
職員旅費	17,651,000	0.627
受託研究旅費	1,172,000	0.042
講師等旅費	15,000	0.001
自動車重量税	78,000	0.003
施設整備費	3,000,000	0.106

## B. 昭和 55 年度歳出予算額

総	額	2,925,991,000	100.0%
職	員 給 与	2,195,523,000	75.035
校	費	651,591,000	22.269 100.0%
研	究 部 経 費	396,437,000	60.842
通	常 経 費	219,756,000	
	各 部 研 究 費	182,423,000	
	選 定 研 究 費	36,179,000	
	そ の 他	1,154,000	
特	別 経 費	176,681,000	
	特 別 研 究 費	49,100,000	
	牧 殊 装 置 運 転 経 費	37,713,000	
	セ ン タ ー 運 営 費	4,496,000	
	学 生 等 経 費	24,688,000	
	電 子 計 算 機 借 料	60,684,000	
管	理 運 営 費	224,531,000	34.458
通	常 経 費	224,531,000	
	事 務 部 経 費	15,523,000	
	事 務 経 費	12,787,000	
	自 動 車 管 理 費	2,393,000	
	会 議 費	343,000	
	賃 金	8,779,000	
生	活 関 係 経 費	126,262,000	
	光 熱 水 料	84,314,000	
	通 信 費	22,196,000	
	暖 冷 房 運 転 経 費	19,152,000	
	防 火 設 備 等 保 守 費	600,000	
厚	生 ・ 環 境 整 備 費	13,178,000	
	厚 生 経 費	2,858,000	
	清 掃 費	3,915,000	
	環 境 整 備 費	3,607,000	
	庁 舎 維 持 費	2,798,000	
共	通 施 設 関 係 費	60,789,000	
	図 書 費	20,369,000	
	出 版 費	14,285,000	

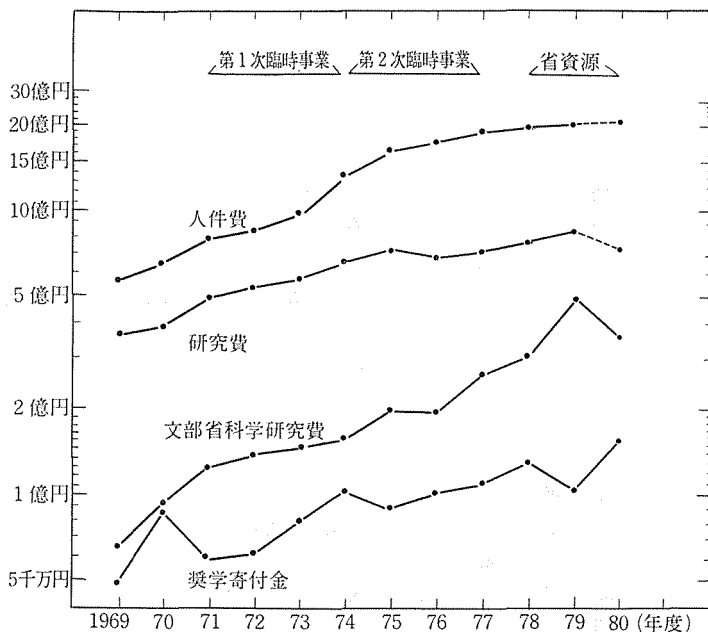
写真技術班運営費	1,234,000	
試作工場運営費	4,755,000	
電子計算機室運営費	3,434,000	
千葉実験所運営費	16,712,000	
臨時経費	14,860,000	2.281
通常経費	14,860,000	
計画支出	1,200,000	
臨時支出	13,660,000	
特別経費	0	
特別設備費	0	
特別研究費	0	
予備費	15,763,000	2.419
予備費	9,319,000	
光熱水料引当金	6,444,000	
節約引当金	0	
受託研究費	25,676,000	0.877
受託研究員費	9,762,000	0.334
各所修繕費	12,100,000	0.414
職員旅費	16,579,000	0.567
受託研究旅費	1,028,000	0.035
講師等旅費	359,000	0.012
自動車重量税	173,000	0.006
施設整備費	13,200,000	0.451

### C. 文部省科学研究費関係 (昭和55年度)

総額	334,630,000 円
自然災害特別研究	3,600,000
環境科学特別研究	129,200,000
エネルギー特別研究	20,000,000
特定研究	15,500,000
総合研究	12,800,000
一般研究	114,100,000
奨励研究	7,530,000
試験研究	31,900,000

### D. その他の研究費（昭和55年度）

総額	168,693,900 円
文部省科学研究費分担金	17,023,900
奨学寄付金	151,670,000



(注) 研究費は人件費を除く研究費・文部省科学研究費は文部省科学研究費分担金を含む。(1979年度の人件費・研究費は予算額を示す)

最近10年間の人件費、研究費、文部省科学研究費、奨学寄付金の動き

#### 4. 昭和 55 年度のおもな記録

##### A. 教授総会開催日表

4. 16. 5. 14. 6. 18. 7. 16. 9. 17. 10. 1. 15. 11. 19. 12. 17. 56. 1. 21. 2. 18. 3. 25.

##### B. 各種委員会開催日表

| 委員会名              | 開催日   |
|-------------------|---|
| 常務委員会             | 4. 2. 16. 5. 7. 21. 6. 4. 18. 7. 2. 16. 9. 10. 17. 10. 1. 15. 11. 5. 19.<br>12. 3. 17. 56. 1. 7. 21. 2. 4. 18. 3. 11. 25. |
| 特別研究審議委員会         | 10. 22. 11. 19. 12. 17. 56. 2. 19. 3. 18.   |
| 環境安全委員会           | 5. 20. 7. 8. 10. 8. 11. 10. 56. 1. 19.  |
| 図書委員会             | 5. 21. 6. 18. 7. 23. 8. 29. 9. 24. 10. 15. 11. 19. 56. 1. 21. 2. 18. 3.<br>25.  |
| 出版委員会             | 4. 30. 5. 28. 6. 25. 7. 23. 9. 24. 10. 22. 11. 26. 12. 24. 56. 1. 28. 2.<br>25. 3. 18.                                    |
| 営繕委員会             | 4. 22. 5. 27. 6. 24. 7. 29. 8. 26. 9. 22. 10. 28. 11. 25. 12. 23. 56. 1.<br>27. 2. 24. 3. 24.                             |
| 工作委員会             | 5. 9. 56. 1. 20. 3. 23  |
| 厚生委員会             | 5. 2. 6. 13. 7. 25. 10. 23. 56. 1. 30. 3. 6.  |
| 写真委員会             | 5. 8. 9. 26. 56. 1. 16. 3. 20.  |
| 電子計算機委員会          | 5. 14. 7. 2. 10. 8. 12. 10. 56. 2. 4. 3. 11.  |
| 放射性同位元素委員会        | 10. 29.   |
| 千葉実験所管理<br>運営委員会  | 5. 16. 7. 17. 11. 12. 56. 3. 26.  |
| 津波高潮実験施設<br>運営委員会 | 56. 3. 31.  |
| 記念行事委員会           | 7. 2. 56. 1. 14. 2. 4. 3. 11.   |
| 講習会委員会            | 12. 10. 56. 2. 12. 3. 2. 3. 16.   |
| 複合材料研究会           | 5. 12. 9. 24. 11. 12.   |
| 連絡委員会             | 4. 9. 56. 1. 7. 3. 11.  |

## C. 輪 講 会

| 通し回数 | 題 目                        | 講 演 者     | 開催年月日      |
|------|----------------------------|-----------|------------|
| 491  | AE法による防災と省資源               | 教 授 山口 楠雄 | 55. 4. 16  |
| 492  | 高イオン伝導体について                | 助教授 安井 至  | 55. 5. 14  |
| 493  | 鉄骨造建物の震害と耐震設計上の問題点         | 教 授 高梨 晃一 | 55. 6. 18  |
| 494  | 結晶転位と塑性変形                  | 助教授 鈴木 敬愛 | 55. 7. 16  |
| 495  | 多銅船型浮消波堤について               | 助教授 木下 健  | 55. 9. 17  |
| 496  | 画像データベースについて               | 助教授 坂内 正夫 | 55. 10. 14 |
| 497  | 液体急冷法によって作製した非晶質合金の構造と時効特性 | 助教授 七尾 進  | 55. 11. 19 |
| 498  | 交通問題におけるトラック輸送             | 教 授 越 正毅  | 55. 12. 17 |
| 499  | 超音波スペクトロスコピーの最近の発展         | 助教授 高木堅志郎 | 56. 1. 21  |
| 500  | 砥粒含有鋳鉄ラップ定盤の製作とそのラッピング特性   | 講 師 萩生田善明 | 56. 2. 18  |

## D. 研究所公開

55年5月22日～23日下記の研究室を公開

| 研 究 題 目            | 研究担当者                  |
|--------------------|------------------------|
| <b>第 1 部</b>       |                        |
| 固体撮象素子を用いたレンズ収差測定機 | { 小 倉 馨 夫<br>小 瀬 輝 次   |
| ホログラフィックディスプレイ     | { 小 瀬 輝 次<br>小 倉 馨 夫   |
| 超音波の光学的研究          | { 根 岸 勝 雄<br>高 木 堅 志 郎 |
| 銅蒸気レーザー励起による色素レーザー | 小 倉 馨 夫                |
| 磁気光学の応用            | { 小 瀬 輝 次<br>芳 野 俊 彦   |
| SIMS-AES装置による表面の研究 | 本 間 禎 一                |
| 超音波音場の研究           | 鳥 飼 安 生                |
| 材料のA E計測           |                        |
| 指向性真空計の応用          | 辻 泰                    |
| フィルダムの模型の振動破壊      | 田 村 重 四 郎              |
| 破壊力学の研究            | { 北 川 英 夫<br>結 城 良 治   |



## 第 2 部

イオンビーム加工  
放電加工  
伝熱現象の研究  
過渡冷却法に関する研究  
消波波浪発電に関する研究  
不連続体力学のすすめ  
機械加工と形状精度  
プレス加工の研究  
トロイダル形無段変速機  
海洋構造物の繫留の研究

## 第 3 部

高水準プログラミング言語  
三次元画像  
レーザのエレクトロニクスへの応用  
交通情報システム  
多次元画像処理の応用  
画像伝送とローカル計算機網  
半導体材料とデバイス  
アコースティック・エミッション(AE)と構造物防災  
電力系統における絶縁信頼度の向上  
EM材料部品及び超音波応用  
パワーエレクトロニクスとマイクロコンピュータ  
分子線エピタキシーおよびサブミクロン技術とその先・エレクトロニクス素子への応用

## 第 4 部

光触媒を用いる太陽エネルギーの利用  
二分子膜系によるエネルギー変換  
光電導性ポリペプチド  
天然うるしの構造  
電子分光法による固体表層状態解析  
新無機アモルファス材料の合成とその構造  
膜分離法に関する研究①  
膜分離法に関する研究②

増 沢 隆 久  
棚 沢 一郎  
西 尾 茂 文明  
前 田 久 文明  
木 下 健  
川 井 忠 彦  
佐 藤 壽 芳  
中 川 威 雄  
石 原 智 男  
浦 環

浜 田 喬  
浜 崎 襄 二  
藤 井 陽 一  
高 羽 禎 雄  
高 木 幹 雄  
安 田 靖 彦  
安 達 芳 夫  
生 駒 俊 明  
山 口 楠 雄  
河 村 達 雄  
右 井 勝  
尾 上 守 夫  
原 島 文 雄  
榊 裕 之

齊 藤 泰 和  
鋤 柄 光 則  
熊野 裕 従  
二 瓶 好 正  
安 井 至  
木 村 尚 史

分子ふるい活性炭による空気中の酸素富化  
 水質保全に関する研究  
 アモルファス合金の製造と熱安定性  
 移動層における粒子の運動と応力分布  
 せんい強化金属の抵抗焼結

鈴木 基之  
 井野 博満  
 館 充  
 原 善四郎

## 第 5 部

世界の住居

レンガ(煉瓦)の技術と歴史

都市の交通管理

土質安定処理工法について

各種特殊土質試験について

リモートセンシングデータのデジタル解析

丘陵地の水循環機構と都市化によるその変化

樹脂塗装による鉄筋の防食混成繊維補強コンクリート

開口部を持つ塔状型シェル構造物の剛性評価と振動性状

ライフラインの地震被害と地震防災

環境騒音に関する研究

{ 原 広 司  
 藤 井 明  
 松 村 貞次郎  
 越 正 毅  
 鹿 島 茂  
 三 木 五三郎  
 龍 岡 文 夫  
 村 井 俊 治  
 虫 明 功 臣  
 小 林 一 輔  
 半 谷 裕 彦  
 久 保 慶三郎  
 片 山 恒 雄  
 石 井 聖 光  
 橋 秀 樹

## 計測技術開発センター

屋内野球場の温熱環境に関する模型実験

海洋フミン質の化学的研究—海洋汚染との関連について

村 上 周 三  
 早 野 茂 夫

## 複合材料技術センター

複合材料の製造開発

金属短繊維の製造とその応用

複合材料強度および有限要素法解析のマイクロコンピュータシステム

大 蔵 明 光  
 中 川 威 雄  
 山 田 嘉 昭

## 多次元画像情報処理センター

多次元画像情報処理

{ 尾 上 守 夫  
 高 木 幹 雄  
 坂 内 正 夫  
 石 塚 満

共 同

耐震構造(土木・建築・機械の耐震構造に関する研究)

※研究担当者

田村重四郎, 岡田恒男, 柴田 碧, 川井忠彦, 佐藤壽芳,  
藤田隆史, 下坂陽男, 久保慶三郎, 田中 尚, 高梨晃一,  
片山恒雄, 半谷裕彦, 龍岡文夫,

※耐震構造研究グループ(ERS)

共 通

電子計算機室

運用の統計上の展示

TSS 端末のデモンストレーション

試作工場

千葉実験所

原 健 蔵  
渡 辺 忠 夫

講 演

「天然うるしから合成漆へ」

教 授 熊野 谿 従

「パワーエレクトロニクスの最近の発展」

教 授 原島 文雄

E. 日 譜

| 昭和 | 西 曆  | 月 日             | 行 事                                  |
|----|------|-----------------|--------------------------------------|
| 55 | 1980 | 5. 21～<br>5. 22 | 研究所公開：研究室公開及び講演・映画等開催                |
|    |      | 9. 15           | 本所運動会(主催弥生会)船橋体育センターで開催              |
|    |      | 11. 14          | 石原智男教授所長となる(13代)                     |
| 56 | 1981 | 1. 10～          | 本学で昭和 56 年度共通第一次学力試験が実施される。          |
|    |      | 1. 11           |                                      |
|    |      | 2. 18           | 輪講会 500 回講演が行われた。                    |
|    |      | 3. 4～           | 本学で昭和 56 年度第二次学力試験が実施される。            |
|    |      | 3. 5            |                                      |
|    |      | 3. 25           | 退官教官記念特別講演会, 第 5 部三木五三郎教授「市民生活と土質工学」 |
|    |      | 4. 1            | 東京大学総長に平野龍一教授が就任                     |